

便利な機能

歩数計を使う	Enjoy Exercise	342
マルチアクセス	マルチアクセス	345
マルチタスク	マルチタスク	346
データを時系列に表示する	ライフヒストリービューア	346
画面の縦横を自動で切り替えるように設定する	画面縦横自動切替	348
FOMA 端末を開いたときの動作を設定する	スライドアクション設定	348
自動で電源を入れる／切る	自動電源 ON／OFF	348
チャンネルボタンのショートカット機能を変更する	ch ボタン設定	349
メインメニューを並び替える		349
アラーム機能を利用する	アラーム	349
スケジュールを管理する	スケジュール	350
To Do リストに登録する	To Do リスト	354
アラーム通知のしかたを設定する	アラーム通知設定	356
アラーム内容を読み上げる		358
自分の名前や画像を登録する	マイプロフィール	358
相手の声や自分の声を録音する	通話中音声メモ／待受中音声メモ	360
通話中に相手の声を自動録音するように設定する	自動音声メモ	361
アラーム音や応答保留音を録音／再生する	おしゃべり機能	361
通話時間・料金を確認する	通話時間／料金	362
通話料金の上限を設定して知らせる	通話料金通知	363
電卓を使う	電卓	364
テキストメモを作成する	テキストメモ	364
辞典を利用する	辞典	365
スイッチ付イヤホンマイクの使いかた	スイッチ付イヤホンマイク	366
Bluetooth を利用する	Bluetooth	368

歩数計を使う

(Enjoy Exercise)

日常歩行を計測する「WALK」と、エクササイズ目的の走行を計測する「RUN」の2つの計測機能があります。

●「WALK」では以下の項目を計測できます。

- 歩数 (STEPS)
- きっちり歩数 (QUICK-WALK) *
- 歩行距離 (DISTANCE)
- 歩行時間 (TIME)
- 消費カロリー (CALORIE)
- 脂肪燃焼量 (FAT-BURNING)

※：毎分90歩以上のペースで10分以上歩行したときの歩数です。

●「RUN」では以下の項目を計測できます。

- 走行距離 (DISTANCE)
- 走行時間 (TIME)
- ラップタイム (LAP TIME)
- 平均速度 (SPEED)
- RUN歩数 (STEPS)
- 消費カロリー (CALORIE)
- 脂肪燃焼量 (FAT-BURNING)

目標値達成通知機能

●WALK目標設定、RUN目標設定、ラップタイム設定を設定すると、目標値や設定距離に達したことを画面表示やバイブレーションなどでお知らせします。

※歩数計利用時には体調を考慮し、無理な目標設定などは行わないでください。

測定について

●一定のペースで歩行、走行していただくより正確に歩数を計測できます。

●Enjoy Exerciseは、あらゆる方向の動きを検知し、精度の高い歩数測定を行います。歩きかたやバイブレーションの動作（振動時には計測停止）などにより、誤差が生じる場合があります。また、歩行距離（走行距離）、消費カロリー、脂肪燃焼量は、入力した歩幅、体重をもとに計算しています。測定値はあくまでも目安としてご活用ください。

●歩き始めや歩くペースを変えた場合、歩行を始めたかどうかを判断しているため（誤カウント防止）、表示が変わりません。目安として5秒程度（10歩以上）歩くとそこまでの歩数が一度に表示されます。

●計測をストップしてもデータはリセットされません。再度スタートした場合、それまでのデータに計算されます。

正確な測定を行うために

●「時計設定」を行っていない場合、本機能は利用できません。

●ECOモード中は本機能は利用できません。測定中にECOモードにした場合、測定を中止します。

●電源が入っていないときやソフトウェア更新中は計測を行いません。

●バイブレーション動作中は測定を中止します。

●カウントした歩数は約10分ごとに保存されます。FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されていない歩数が消失してしまう場合があります。

●キャリングケースS01（別売）に入れるときは、キャリングケースを腰のベルトなどに装着してください。また、走行、歩行時はからだに密着するようにご使用ください。

●かばんやポーチ、各種ホルダーなどに入れるときは、ポケットや仕切りの中などに入れてください。

●以下の場合、歩数を正確にカウントしないことがあります。

[FOMA端末が不規則に動くとき]

●FOMA 端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則な動きをしているとき

●FOMA 端末を腰やかばんからぶら下げたとき

[不規則な歩行や極端な歩行をしたとき]

●すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき

●混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき

●極端にゆっくり歩いたとき

[上下運動や振動の多い所で使用したとき]

●立ったり、座ったりしたとき

●歩行やランニング以外のスポーツを行ったとき

●階段や急斜面の昇り降りを行ったとき

●乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車中の上下振動または横揺れのとき

●表示可能なデータの最大値は以下のとおりです。

[WALK]

●歩数 : 999,999歩

●きっちり歩数 : 999,999歩

●歩行距離 : 999,999m

●歩行時間 : 999時間59分59秒

●消費カロリー : 999,999kcal

●脂肪燃焼量 : 999,999g

[RUN]

●走行距離 : 99,999m

●走行時間 : 24時間00分00秒00

●ラップタイム : 279分56秒15

●平均速度 : 99.99km/h

縦画面 : 99.99km/h

横画面（グラフ）: 99.99km/min

●RUN歩数 : 999,999歩

●消費カロリー : 9,999kcal

●脂肪燃焼量 : 9,999g

※モードなどにより単位が異なる場合があります。

■歩数計利用時のご注意

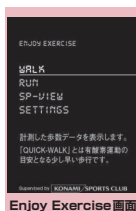
- 歩数計の操作を行う場合は、安全な場所に立ち止まってください。操作中に事故を起こした場合であっても、当社は一切の責任を負いません。
- 走行、歩行以外の目的では使用しないでください。また、走行、歩行時でも周囲の安全を確認してご使用ください。
- FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによって、歩数計のデータが消失してしまう場合があります。万が一、歩数計のデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

「WALK」で計測する

- 計測を開始すると、ディスプレイに歩行者が表示されます。Enjoy Exerciseの各画面を閉じたあとでも「歩数計設定」をOFFにするまでは計測が継続されます。
- 「WALK」の目標値達成通知（画面表示、バイブレータ）は、「WALK」画面表示中にのみ行われます。

1 [MENU] ▶ 「LIFEKIT」 ▶ 「Enjoy Exercise」

■はじめて計測するとき
お買い上げ後、はじめてEnjoy Exerciseを利用する場合、歩数計設定／利用者設定の確認画面が表示されます。内容を確認して [OK] を押し、必要な項目を設定してください。「基本情報を設定する」→P.344



機能メニュー▶P.344

2 「SETTINGS」▶「歩数計設定」▶「ON」

- 終了する場合
▶「OFF」

おしらせ

- 「WALK」では省電力モード中に目標値を達成しても通知（省電力モードを解除しての画面表示、バイブレータ）は行われません。

●歩数計データを確認する

- 「WALK」の歩数計データには、「RUN」での計測データが含まれて表示されます。また、表示される歩数は、きっちり歩数とRUN歩数を含めた歩数が表示されます。
- 表示データは累計値です。

1 Enjoy Exercise画面 (P.343) ▶ 「WALK」



機能メニュー▶P.344



機能メニュー▶P.344



DAY	STEPS	QUICK-WALK
20	2,969	2,548
21	2,835	1,819
22	2,868	0
23	2,158	1,730
24	2,168	0
25	2,639	2,527
26	3,053	0
27	3,125	0
28	1,460	0
29	4,405	2,508

機能メニュー▶P.344

■詳細表示画面、グラフ表示画面のボタン操作

- ：1日表示／週間表示／月間表示
- ：前日／翌日、前週／翌週、前月／翌月
- ：(グラフ表示画面のみ) 歩数→歩行距離→消費カロリー

■一覧表示画面のボタン操作

- ：前日／翌日
- ：前月／翌月
- ：歩数・きっちり歩数→歩行距離・歩行時間→消費カロリー・脂肪燃焼量

■歩数計利用中にミュージックを起動する

- ▶ [] フォルダを選択し、ミュージックを選択します。SP-VIEW画面やRUN画面でも利用できます。

■目標設定時の表示内容

「WALK目標」「RUN目標」を設定している場合、目標を達成した項目に「★」が表示されます。

■測定データの保存期間

- 測定データは、以下の期間、保存されます。
時間別歩数データ：31日(本日分含めて32日)
日別歩数データ：365日(本日分含めて366日)
- 保存期間が過ぎた場合、古いデータから削除されます。
- 日時を変更すると設定した日時より未来のデータと保存期間より前のデータは削除されます。

● SP-VIEWで目標達成状況を表示する

① Enjoy Exercise画面 (P.343) ▶ 「SP-VIEW」



画面の切り替え

SP-VIEW画面

機能 Enjoy Exercise画面 (P.343)

全データリセット……すべての表示データをゼロに戻します。端末暗証番号の入力が必要です。

デスクトップ貼付→P.110

機能 WALK画面 (P.343)

歩数計設定、WALK目標設定→P.344

本日データリセット……WALK画面の本日の表示データをゼロに戻します。

「RUN」で計測する

- 「RUN」の目標値達成通知、ラップタイム通知は、他の機能を使用しても行われます。ただし音声電話・テレビ電話の着信中、通話中は通知されません。

① Enjoy Exercise画面 (P.343) ▶ 「RUN」



機能メニュー→P.344

② [START] ▶ 走る ▶ [STOP]

■ 終了する場合

▶ [END] ▶ 「YES」

■ タッチセンサー操作 (閉じているとき)

「RUN」では、いずれかのタッチセンサーに触れるだけで、START / STOP操作が行えます。

計測中、および省電力モードではタッチセンサーは無効になります。タッチセンサーが無効のときは、[] (サイドボタン) を押し、有効にしてから操作してください。

おしらせ

- 「RUN」で計測中はFOMA端末を閉じると約15秒で省電力モードになります。ラップタイム設定で設定した距離に到達した場合や目標設定で設定した目標に到達した場合などは省電力モードが解除され、約15秒後に再び省電力モードになります。

機能 RUN画面 (P.344)

表示カウンターリセット……RUN画面の表示データをゼロに戻します。

RUN目標設定→P.345

ラップタイム設定……測定する距離を設定し、ラップタイムを計測します。

基本情報を設定する

計測を開始 / 終了する「歩数計設定」のほか、データ計測の精度を向上させるため、身長、体重、歩幅などの利用者設定を行います。

- 「歩数計設定」のON状態は、電源を切っても維持されます。ただし測定は行われません。

① Enjoy Exercise画面 (P.343) ▶ 「SETTINGS」 ▶ 以下の項目を設定

歩数計設定……歩数計計測 (WALK) を開始 (ON) または終了 (OFF) します。

身長 / 体重……端末暗証番号入力後、「身長、体重」を入力します。

WALK歩幅、RUN歩幅……歩くとき (WALK) の歩幅や、走るとき (RUN) の歩幅を入力します。

■ キャリブレーション機能を利用する

あらかじめ距離がわかっている区間を実際に歩いたり走ったりして、歩幅を設定します。

- 「歩数計設定」が「ON」のときに利用できます。

▶ 「WALK歩幅入力画面」または「RUN歩幅入力画面」▶ [Fn] [機能] ▶ 「キャリブレーション」▶ 測定距離を入力▶ [START] ▶ 歩くまたは走る▶ [STOP] (キャンセルの場合は [CANCEL])

※ 閉じているときは、「RUN」と同様にタッチセンサーが利用できます。→P.344

なお、キャリブレーション機能では、タッチセンサーの長押しでキャンセル操作も行えます。

WALK目標設定、RUN目標設定……「WALK」の目標値（歩数、歩行距離、消費カロリー）や、「RUN」の目標値（走行時間、走行距離、消費カロリー）を設定します。

モードセレクト……歩数計画面（Enjoy Exercise画面、WALK画面、RUN画面、SP-VIEW画面）のデザインを選択します。

マルチアクセス

（マルチアクセス）

マルチアクセスとは、複数の回線を同時に使用できる機能です。

- マルチアクセスの組み合わせ→P.446
- 以下の3回線を同時に使用できます。

音声電話	1回線
i モード、i アプリ、i モードメール、パソコンをつないだパケット通信	1回線
SMS	1回線

おしらせ

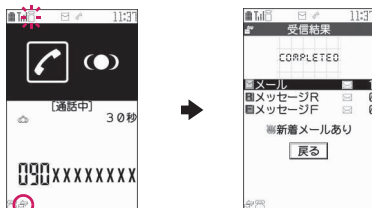
- マルチアクセス中は、それぞれの通信回線に通信料金ががかかります。

通信中に着信があったとき

● 音声通話中の i モードメール受信

音声通話中に i モードメールを受信すると、音声通話中画面のまま i モードメールを受信します。受信した i モードメールは音声電話を切らずに見ることができます。

- ①  [MULTI] ▶  (送受信) を選択
i モードメールの受信結果画面に切り替わります。
タスクの切り替えについて→P.346



② i モードメールを確認

i モードメールの見かた→P.157

③ [MULTI] ▶ (音声通信) を選択

音声通話中画面に切り替わります。

● i モード中／パケット通信中の音声電話着信

i モードの接続中やメールの送受信中、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信中に音声電話がかかってくると、音声電話着信画面に切り替わり、i モードやパケット通信を終了しないで音声電話に出ることができます。

<例：i モード中に音声電話を着信した場合>

- ① 
音声通話中画面に切り替わり、通話ができます。
■ 音声電話に出ないで i モード画面に戻する場合
▶  [MULTI] ▶  (閲覧) を選択
相手にメッセージは流れず、呼び出し中になります。

- ② 通話が終了したら 
通話が終了し、i モード画面に戻ります。
■ 音声通話中のまま i モード画面に戻する場合
▶  [MULTI] ▶  (閲覧) を選択

通信中にほかの通信を使うとき

現在の通信を中断しないで、別の回線を使って同時に通信を行うことができます。

- マルチアクセス中に画面を切り替えるには、タスクアイコン表示エリアから表示したい機能を選択します。→P.346

● i モード中の音声電話発信

i モードの接続中やメールの送受信中に、i モードを終了しないで音声電話をかけられます。

- ① i モード中 ▶  [MULTI] (1秒以上)
待受画面が表示されます。

- ② 音声電話をかける
音声電話のかけかた→P.56

- ③ 通話が終了したら 
通話が終了し、i モード画面に戻ります。
■ 音声通話中のまま i モード画面に戻する場合
▶  [MULTI] ▶  (閲覧) を選択

マルチタスク

(マルチタスク)

マルチタスクとは、複数の機能を同時に使用できる機能です。

- マルチタスクの組み合わせ→P.447
- マルチタスク中はタスク切替画面 (P.346) に使用タスクのアイコンが表示されます。複数のタスクを起動している場合、このアイコンを選択して操作するタスクを切り替えます。
- 音声通話中にほかの機能を同時に使っている間でも、音声通話料は加算されます。

タスク (機能) の呼び出し方

現在使用している機能を終了しないで、新しいタスク (機能) を起動します。

① タスクを起動中 ▶ [MULTI]

「タスク切替画面」(P.346) が表示されます。

② [MENU] ▶ 新たに起動するタスクを選択

■ メールメニューを直接呼び出す場合

▶  [MAIL]

■  に割り当てられている機能呼び出す場合→P.179

▶ 

■  に割り当てられている機能呼び出す場合→P.349

▶ 

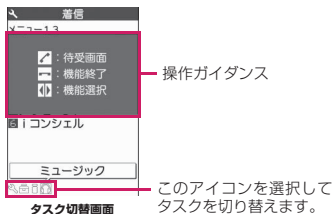
おしらせ

- 機能によっては、他のグループの機能として起動するものがあります。
- 以下の場合はメールの閲覧をしながらメールを作成できるようになるため、タスクが1つ追加されます。
 - メールメニューからの新規メール作成
 - メールメニューからのSMS作成
 - メールメニューからのデコメアニメ®作成
 - デコメール®テンプレートを利用したデコメール®作成
 - デコメアニメ®テンプレートを利用したデコメアニメ®作成
 - 受信メールの返信／引用返信／転送
 - 送信メールの再編集
 - 保存メールの再編集

タスク切替画面の操作

複数のタスクが起動している場合、操作するタスクを切り替えたり、すべてのタスクを同時に終了することができます。

① 複数のタスクを起動中 ▶ [MULTI]



■ タスクを切り替える場合

▶ 切り替えるタスクアイコンを選択

■ メインメニューを表示する場合

▶  [MENU]

■ 待受画面を表示する場合

▶ 

待受画面表示中に  を押すと、再び「タスク切替画面」が表示されます。

※ タスク起動中に  (1秒以上) を押すと、タスク切替画面を表示しないで待受画面を表示できます。

■ タスクを終了する場合

▶  「選択した機能を終了」または「全機能を終了」

データを時系列に表示する

(ライフヒストリービューア)

過去に自分が保存した画像やメールの送受信履歴などを、日付や時間に沿って参照することができます。

● 参照できるデータの種類の種類は以下のとおりです。

- JPEG形式の静止画や画像
- 動画、i モーション
- スケジュール
- メール送受信履歴

① MENU ▶ 「LIFEKIT」 ▶ 「ライフヒストリービューア」

■ 時間軸を縮小／拡大する場合

▶ [縮小] / [拡大]



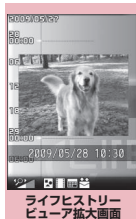
機能メニュー▶P.347

② 画像やアイコンを選択

動画、i モーションを選択した場合はライフヒストリービューア拡大画面で再生されます。

■ 動画／i モーションの音量を調節する場合

▶ [音量]

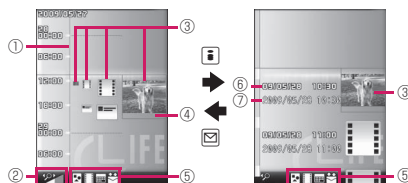


機能メニュー▶P.347

③ [開く]

データの種類に対応した機能が起動し、データが表示されます。

ライフヒストリービューア画面の見かた



① 時間軸

② 時間軸状態表示



③ アイコン

静止画、画像：画像のサムネイル

動画、i モーション：動画のアイコン

スケジュール：スケジュールのアイコン

送受信メールの履歴：送受信メールの履歴のアイコン

④ データの情報

静止画、画像、動画、i モーション：表示なし

スケジュール：スケジュールの件名

送受信メールの履歴：受信メールの場合は送信元、送信メールの場合は送信先

⑤ 表示対象のデータの種類の

[静止画、画像]

[動画、i モーション]

[スケジュール]

[送受信メールの履歴]

⑥ 日時

静止画、画像、動画、i モーション：撮影日時／更新日時／保存日時

スケジュール：開始日時

送受信メールの履歴：送受信日時

⑦ タイトル

静止画、画像、動画、i モーション：タイトル

スケジュール：スケジュールの件名

送受信メールの履歴：受信メールの場合は送信元、送信メールの場合は送信先

機能 ライフヒストリービューア画面 (P.347) / ライフヒストリービューア拡大画面 (P.347)

拡大表示……「ライフヒストリービューア拡大画面」を表示します。

開く……データの種類に対応した機能を起動し、データを表示します。

表示設定……ライフヒストリービューアで表示するかどうかを、データの種類ごとに設定します。

データの種類を選択時に機能メニューから「全選択、全解除、既定値に戻す」を選択することもできます。

デスクトップ貼付※→P.110

時間軸拡大、時間軸縮小※

再読み込み……表示情報を最新の状態に更新します。

※：ライフヒストリービューア拡大画面では利用できません。

便利な機能

画面の縦横を自動で切り替えるように設定する

〈画面縦横自動切替〉

横画面表示に対応している機能を使用しているときに、FOMA端末の向きによって画面の縦横を自動で切り替えるかどうかを設定します。

- 「画面の縦横切り替えについて」→P.25

① ▶「SETTINGS / NW SERVICE」▶「その他設定」▶「画面縦横自動切替」

② 「ON」または「OFF」

- 自動切り替えの練習をする場合

▶  「練習」▶ 画面のガイダンスに従って練習

おしらせ

- 本機能を「ON」に設定すると、手動操作やFOMA端末の開閉による画面縦横の切り替えができなくなります。

FOMA 端末を開いたときの動作を設定する

〈スライドアクション設定〉

着信中／不在着信時／新着メール時に、FOMA 端末を開いたときの動作を設定します。

- 着信応答を「ON」に設定すると

着信があったときにFOMA 端末を開くと、ボタンを押さなくても通話状態になり、すぐに電話に出られます。→P.69

- 新着メール閲覧／不在着信履歴閲覧を「ON」に設定すると

新着メールや不在着信があるときにFOMA 端末を開くと、メール内容や電話の相手をすぐに確認できます。→P.150、169

- 新着のメール／メッセージがあるときは、待受画面で「 / 」を選択したときと同様、メール詳細画面／メッセージ詳細画面が表示されます。

- 不在着信があるときは、待受画面で「」を選択したときと同様、着信履歴一覧画面が表示されます。→P.74

① ▶「SETTINGS / NW SERVICE」▶「スライド設定」▶「スライドアクション設定」

② で ☐ (チェックボックス) を選択 ▶ 「完了」

おしらせ

<着信応答>

- テレビ電話は代替画像で着信応答を行います。

<新着メール閲覧／不在着信履歴閲覧>

- 他の機能が起動している場合は、動作しません。

<スライドアクション設定の優先順位>

- すべて「ON」に設定した場合の優先順位は以下のとおりです。

- ① 着信応答
- ② 新着メール閲覧(①メール、②メッセージR／F)
- ③ 不在着信履歴閲覧

自動で電源を入れる／切る

〈自動電源ON / OFF〉

決められた時刻に自動的に電源が入るように、または切れるように設定します。

- 自動電源OFFで設定した時刻になっても、他の機能を利用中は電源は切れません。また、アラームなどの通知や i アプリの自動起動と自動電源OFFの設定時刻を同じ時刻に設定している場合も、電源は切れません。機能終了後に電源が切れます。

- FOMA 端末の電源が切れていると、Music&Video チャンルの番組取得や、ソフトウェアの予約更新、ワンセグ録画予約などは動作しませんので自動電源OFFに設定するときにはご注意ください。

<例：自動で電源を入れる場合>

① ▶「SETTINGS / NW SERVICE」▶「時計」▶「自動電源ON」

- 自動で電源を切る場合

▶ 「自動電源OFF」

② 「ON」▶時刻を入力▶「繰り返しなし」または「毎日繰り返し」を選択

- 自動電源ON / OFFを解除する場合

▶ 「OFF」

おしらせ

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」の設定を「OFF」に設定し、FOMA 端末の電源を切ってください。

チャンネルボタンのショートカット機能を変更する (chボタン設定)

待受画面表示中やタスク切替画面表示中に [ch] を押して呼び出す機能を変更します。

● 割り当てできる機能は、i チャネル、カメラ、スケジュール、ミュージックプレーヤー、Music&Videoチャンネル、ワンセグです。

1 MENU ▶ [SETTINGS / NW SERVICE] ▶ 「ボタン／タッチセンサー設定」 ▶ 「chボタン設定」

■ お買い上げ時の設定に戻す場合

▶ [ch] [機能] ▶ 「chボタン初期化」

2 割り当てる機能を選択 ▶ 「YES」

メインメニューを並び替える

ユーザカスタマイズに対応しているメニューを、自分で並べ替えます。中項目のメニューを配置することもできます。

● お買い上げ時に登録されているメニューで並び替えをできるのは、きせかえツールの「拡大メニュー」です。

● きせかえツールの「拡大メニュー」を設定している場合は、メインメニューから「お気に入り」を選択してから操作1を行います。

<第一階層のメニューを並び替える場合>

1 並び替え可能なメニューを表示中 ▶ 新たに配置する位置を反転 ▶ [ch] [機能] ▶ 「項目割り当て」 ▶ メニューを選択

2 「並び替える」 ▶ 「OK」

■ 第二階層以下のメニューを選択する場合
「項目から選択」を選択し、並び替えたいメニューを選択し「並び替える」を選択します。

アラーム機能を利用する (アラーム)

● アラームは10件まで登録できます。

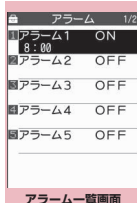
1 MENU ▶ 「LIFEKIT」 ▶ 「アラーム」

■ 前回の設定内容のまま ON、OFF を切り替える場合

▶ 設定項目を反転 ▶

■ [ON / OFF]

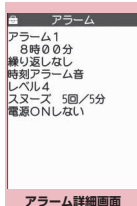
■ を押すたびに [ON、OFF] が切り替わります。



アラーム一覧画面
機能メニュー ▶ P.350

■ 前回の設定内容を確認する場合

▶ 設定項目を選択



アラーム詳細画面
機能メニュー ▶ P.350

2 設定する項目を反転 ▶ [編集]

3 以下の項目から選択

タイトル編集……アラームタイトルを入力します。入力した内容は通知時に表示されます。

時刻入力……アラームを鳴らす時刻を入力します。

繰り返し……アラームの繰り返しを「設定なし、毎日 (D)、曜日指定 (W)」から選択します。

アラーム音選択……アラーム音を時刻アラーム音やメロディ、i モーション、ミュージックなどのフォルダから選択します。

アラーム音量…… でアラーム音量を設定します。

パターン設定……アラームを通知するときのボタンイルミネーションの点灯パターンを設定します。

色設定……アラームを通知するときのボタンイルミネーションの点灯色を設定します。

 **スヌーズ通知**……スヌーズ（繰り返し）で通知するかしないかを設定します。

スヌーズ通知する……鳴動回数（01～10回）と鳴動間隔（01～10分）を入力します。アラーム音（約1分間）が設定した鳴動間隔で、設定した鳴動回数分繰り返し鳴ります。

スヌーズ通知しない……鳴動時間（01～10分）を入力します。アラーム音が設定した時間で鳴り続けます。

 **自動電源ON**……アラーム時刻に自動で電源を入れるか入れないかを設定します。

4 **【完了】**

お知らせ

- PIN1コード入力設定がONとなっているときに、自動的に電源を入れてアラームを通知すると、サイトからダウンロードしたメロディやi モーション、ミュージックがアラーム音に設定されていて「時刻アラーム音」で鳴ります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」の設定を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源を切ってください。

機能

**アラーム一覧画面 (P.349) /
アラーム詳細画面 (P.349)**

編集

詳細表示[※]……アラームの内容を表示します。

完了 (1件ON)……アラームを有効にします。

1件OFF……アラームを1件無効にします。

全件OFF……設定されているアラームをすべて無効にします。

※：アラーム一覧画面でのみ利用できます。

スケジュールを管理する

(スケジュール)

スケジュールを登録しておくと、設定した日時にアラーム音が鳴り、アラームメッセージとアニメーションで登録した内容をお知らせします。また、休日や誕生日も登録できます。誕生日は、電話帳に設定したデータを自動的に登録します。登録したスケジュールや休日はカレンダーで一目で確認できます。

i スケジュールは、スポーツの試合日程やお気に入りアーティストのイベント情報などを自分のスケジュールにダウンロードでき、新しい情報を自動的に更新するサービスです。

i スケジュールは電話帳お預かりサービスと連動して、情報が自動更新されます。→P.134

■スケジュールとしてカレンダーに表示されるデータ

データ	内容
スケジュール	ユーザが登録したスケジュールや休日
i スケジュール	サイトからダウンロードしたi スケジュール
誕生日	電話帳から登録した誕生日データ
週間天気予報	受信した天気予報（当日から8日分）

お知らせ

- i スケジュールのダウンロードや週間天気予報を受信するには、i コンシェルサービス契約 (P.208) が必要です。

スケジュールを登録する

定例会議などの定期的なスケジュールを毎週決まった曜日に登録したり、スケジュールの内容に合わせたアラーム音やアニメーションを設定するなど、いろいろな方法で登録できます。

- 2000年1月1日から2037年12月31日まで表示・登録できます。
- 「タッチセンサー設定」(P.108)で「スクロール機能」を「ON」に設定すると、1ヶ月表示の場合、月を切り替えることができます(「OFF」の場合でも、 (サイドボタン)を押すとタッチセンサーが有効になります)。
- 2,500件まで登録できます。また、1日に複数のスケジュールを登録することもできます。
- スケジュールのアラーム通知について→P.356

1 MENU ▶ 「LIFEKIT」 ▶ 「スケジュール」



反転している日付の
スケジュール件名を
表示

機能メニュー▶P.353

2 ② [新規] ▶ 「スケジュール」

3 ③ 以下の項目から選択

 **件名編集**……スケジュールの件名を入力し、アイコンを選択します。入力した件名は通知時に表示されます。

 **終日**……スケジュールが終日のとき「ON」にします。

 **日時設定** (開始・終了) ……開始・終了の年月日と時刻を設定します。

 **繰り返し** ……スケジュールの繰り返しを「設定なし、毎日 (D)、毎週 (W)、毎月 (M)、毎年 (Y)」から選択します。

 **アラーム通知** ……設定した期日になったときのアラーム通知を「通知する、事前通知する (01~99分)、通知しない」から選択します。

 **アラーム音選択**、 **パターン設定**、 **色設定**→P.349 (アラームの設定項目)

 **場所編集** ……場所を入力します。

 **詳細編集** ……スケジュールの詳細内容を入力します。入力した内容は通知時に表示されます。

4 ④ [完了]

おしらせ

- 「終日」を「ON」に設定した場合、「日時設定」の開始時刻/終了時刻は入力できません。
- 「日時設定」で開始時刻と終了時刻が日付をまたがった場合、期間が7日以内のときのみ「毎週、毎月、毎年」を設定できます。また、この条件を満たさないスケジュールを取得した場合、「繰り返し」は削除されます。
- 「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した日時のみです。スケジュールに設定した日時にはアラーム通知は行われません。
- アラーム通知をするタイミングが重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
 - ①「終日」を「ON」に設定したスケジュール
 - ②「日時設定」を設定したスケジュールの開始時刻
 - ③「終日」を「ON」に設定した i スケジュール
 - ④「日時設定」を設定した i スケジュールの開始時刻
- 開始日時で設定した日付の曜日と、毎週繰り返しで指定した曜日が違う場合は、毎週繰り返しの曜日が優先され、スケジュールは開始日時以降の最初の曜日に登録されます。

祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律 (平成17年法律第43号までのもの)」に基づいています。

また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります (2009年4月現在)。

休日を登録する

- 休日は100件まで登録できます。お買い上げ時に登録されている国民の祝日は休日の登録件数に含まれません。
- 休日は1日に1件のみ登録できます。

① スケジュール画面 (P.351) ▶ [新規] ▶ 「休日」

② 以下の項目から選択

年月日設定……休日を登録する年月日を入力します。

繰り返し……休日の繰り返しを「設定なし、毎年 (Y)」から選択します。

休日編集……休日の内容を入力します。

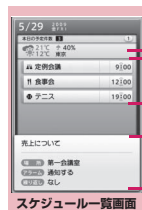
③ [完了]

スケジュール・休日・誕生日を確認する

登録したスケジュール・休日・誕生日の内容を確認します。

① スケジュール画面 (P.351) ▶ スケジュール・休日・誕生日が登録されている日付を選択

一覧表示では選択した日付の登録内容や設定内容が表示されます。



天気予報→P.354

登録したスケジュール／祝日／休日／誕生日／スケジュールを表示 (i スケジュールは左端の帯をオレンジ色で区別)

反転しているスケジュールなどの内容を表示

機能メニュー→P.353

② 項目を選択

スケジュールの登録内容に電話番号、URL、メールアドレスが含まれている場合、Phone To・Web To・Mail To機能を利用できます。

→P.195

■ スケジュール・休日・誕生日の詳細画面



スケジュール詳細画面

機能メニュー→P.353



休日詳細画面

機能メニュー→P.353



誕生日詳細画面

● 電話帳に誕生日を登録すると

誕生日は、本体電話帳で入力します。→P.83

入力された誕生日は自動で登録され、スケジュール画面に表示されます。

- 誕生日詳細画面 (P.352) から、電話をかけたり、メールを送信できます。

おしらせ

- 誕生日は、待受画面の からでも確認することができます。 を選択すると、誕生日の詳細画面が表示されます。同じ日に複数の誕生日が登録されている場合は、スケジュール一覧画面などで一番上に表示されている誕生日の詳細画面が表示されます。

- 「マイプロフィール」に誕生日を登録しても、スケジュールには、自動登録されません。

スケジュール画面 (P.351) / スケジュール一覧画面 (P.352) ／スケジュール・休日の詳細画面 (P.352)

新規登録、編集

コピー……スケジュール・休日の内容を別の年月日にコピーします。

お預りセンターに接続→P.136

クイック検索*1→P.185

i スケジュール一覧……i スケジュール一覧を表示します。→P.353

フィルタ……選択したスケジュールアイコンに一致するスケジュールのみを表示します。

フィルタ解除、登録件数確認*2

シークレット解除*3→P.122

メール作成*3……スケジュールの年月日と内容を本文に貼り付け、i モードメールを作成します。

メール添付*3……スケジュールを添付し、i モードメールを作成します。

デスクトップ貼付……デスクトップに貼り付けると、デスクトップからアイコンを選択したときに、スケジュール画面が表示されます。→P.110

i C送信*3、**i C全送信**→P.331

赤外線送信*3、**赤外線全送信**→P.330

Bluetooth送信*3、**Bluetooth全送信**→P.332

microSDへコピー*3→P.319

休日リセット*2……国民の祝日をお買い上げ時の状態に戻します。登録した休日データは削除されます。

削除……「1 件削除、選択削除、全削除、前日まで削除」から選択します。

- ・「前日まで削除」を選択すると、スケジュール画面で反転している日付より前の項目がすべて削除されます。
- ・「全削除、前日まで削除」では、「スケジュール、休日、すべて」の項目を選択する操作があります。

*1：詳細画面でのみ利用できる機能です。

*2：スケジュール画面でのみ利用できる機能です。

*3：スケジュールのときのみ利用できます。

おしらせ

<メール添付>

- i スケジュールのデータをメール添付すると通常のスケジュールデータとして添付されます。

おしらせ

<削除>

- 「全削除」の「休日」や「すべて」を選択したときは、祝日はお買い上げ時の状態に戻ります。
- i スケジュールの削除はできません。

i スケジュールを利用する

サイトからダウンロードした i スケジュールや、自動受信した週間天気予報のインフォメーションなどは、通常のスケジュールや休日とともに、スケジュール画面に表示されます。

- スケジュールデータ、i スケジュールのダウンロード→P.193

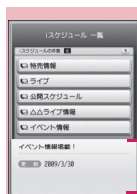
- 「i コンシェル画面の見かたと操作」→P.209

● i スケジュールだけを表示する

i スケジュールは、i スケジュール一覧画面でまとめて表示することができます。

① スケジュール画面 (P.351) ▶ [i スケジュール]

- i モードで i スケジュールを検索する場合
▶ 「i スケジュールリストへ」▶ 「YES」



i スケジュール一覧画面

機能メニュー▶P.354

反転している i スケジュールの内容を表示

■ 詳細画面で確認する場合

- ▶ スケジュールを選択
機能メニュー→P.354

おしらせ

- i スケジュールが 1 件も登録されていない場合、i スケジュールの説明を表示します。
- i スケジュールの個々のデータを編集すると、元のデータはそのまま残り、通常のスケジュールデータが新規に 1 件登録されます。

● 天気予報を確認する

i コンシェルのインフォメーションによって自動で受信した週間天気予報は、スケジュール画面で確認します。

- 週間天気予報のデータを受信しても、着信動作や i コンシェル画面表示は行わず自動更新されません。

① インフォメーションを自動受信

② スケジュール画面 (P.351) で日付を選択

スケジュール一覧画面 (P.352) にその日の天気予報が表示されます。

機能 i スケジュール一覧画面 (P.353) / 詳細画面

クイック検索※→P.185

デスクトップ貼付→P.110

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※: i スケジュール詳細画面でのみ利用できる機能です。

To Doリストを登録する

(To Doリスト)

To Doリストに用件を登録しておくと、予定の管理ができます。また、アラームでお知らせするように登録することもできます。

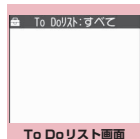
- 2000年1月1日から2037年12月31日まで登録できます。

用件を登録／編集する

- 100件まで登録できます。
- 「内容」は必ず入力してください。「内容」を入力していないTo Doリストは登録できません。
- To Doリストのアラーム通知について→P.356

<例: 用件を登録する場合>

① MENU ▶「LIFEKIT」▶「To Doリスト」



機能メニュー→P.355

② ch【機能】▶「新規登録」

■ 用件を編集する場合

▶ ch【機能】▶「編集」

☑のファンクション表示は、用件未登録時には「新規」、用件登録時には「編集」になります。

③ 以下の項目から選択

☰ To Doリスト編集……用件の内容を入力します。入力した内容は通知時に表示されます。

期 期日……用件の期日を設定します。

直接入力……年月日と時刻を設定します。

カレンダーから入力……カレンダーで年月日を選択し、時刻を設定します。

なし……期日を設定しません。

優 優先度……用件の優先度を「高、低、なし」から選択します。

📁 カテゴリ……用件のカテゴリを「なし、プライベート、休日、旅行、仕事、会議」から選択します。

🔔 アラーム通知……設定した期日になったときのアラーム通知を「通知する、事前通知する(01～99分)、通知しない」から選択します。

🎵 **アラーム音選択**、👉 **パターン設定**、👉 **色設定** → P.349 (アラームの設定項目)

📅 **完了日**※……用件の完了日を設定します。

直接入力……年月日を設定します。

カレンダーから入力……カレンダーで年月日を選択します。

なし……完了日を設定しません。

※：登録済みの用件で、「状態」が「完了」になっている用件を編集したときのみ利用できます。

4 📧 **【完了】**

お知らせ

- 「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した時刻のみです。To Doリストに設定した日時にはアラーム通知は行われません。

To Doリスト画面 (P.354) / 機能 To Doリスト内容確認画面 (P.355)

新規登録、編集

状態……用件の状態を「予定、承諾、依頼、暫定、確認、拒否、完了、代理」から選択します。
「完了」を選択した場合は、完了日を設定します。

カテゴリ別表示※……用件を「すべて、なし、プライベート、休日、旅行、仕事、会議」から選択してカテゴリ別に表示します。

ソート／フィルタ※……条件を選択して、ソート機能で用件を並び替えたり、フィルタ機能で特定の用件のみを表示します。

デスクトップ貼付※ → P.110

メール添付……用件を添付し、i モードメールを作成します。

i C送信、i C全送信※ → P.331

赤外線送信、赤外線全送信※ → P.330

Bluetooth送信、Bluetooth全送信※ → P.332

microSDへコピー → P.319

削除……「1件削除、選択削除※、完了済み削除※、全削除※」から選択します。

- 「完了済み削除」を選択すると、完了した用件がすべて削除されます。

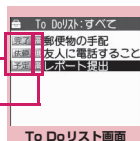
※：To Doリスト画面でのみ利用できる機能です。

用件を確認する

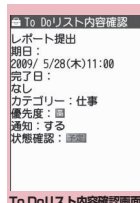
1 To Doリスト画面 (P.354) ▶ 用件を選択

用件の状態を表示します。設定した期日が過ぎるとアイコンが青色から赤色に変わります。

優先度を表示します。



機能メニュー ▶ P.355



To Doリスト内容確認画面

機能メニュー ▶ P.355

アラーム通知のしかたを設定する

(アラーム通知設定)

「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」「ワンセグ視聴予約」でアラームを通知するとき、「操作優先」にするか「通知優先」にするかを設定します。

・「ワンセグ録画予約」は、本機能の設定にかかわらず、アラーム通知を行います。

① 「SETTINGS / NW SERVICE」 ▶ 「時計」▶ 「アラーム通知設定」▶ 「操作優先」または「通知優先」

「操作優先」に設定した場合、待受画面表示中のときのみアラームを通知します。

「通知優先」に設定した場合、FOMA端末を操作しているときや通話中でもアラームを通知します。

アラーム通知動作

● アラーム通知を設定すると

「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」でアラーム通知を設定すると、待受画面にアイコンが表示されます。

05.29 FRI 11:37

■ 待受画面のアイコン表示

-  : 設定あり
-  : 通知当日の通知時刻前

● 設定した時刻になると

各機能ごとに別表1 (P.356) のような動作でアラームを通知します。

- アラーム通知時に表示されるアニメーションは、設定したアイコンやカテゴリによって変わります。ただし、アラーム音に i モーションを設定すると、その映像や音声でアラーム通知を行います。
- 鳴りはじめのスピーカー音量を制限することもあります。→ P.98

【別表1】アラーム通知動作

状態	アラーム	スケジュール・To Doリスト ワンセグ視聴予約／録画予約
待受画面表示中 i モード中※ メール送受信中※	アラームを設定したときの動作でアラームを通知します。ディスプレイには通知アニメーションが表示されます。	アラーム音が約5分間繰り返し鳴ります。ディスプレイには通知アニメーションが表示されます。 録画予約の場合、開始日時の約1分前にアラーム音が約2秒間鳴り、通知画面表示後、ワンセグ視聴画面が表示されます。
電源OFF時	「自動電源ON」の設定に従います。「電源ONしない」に設定している場合は、電源を入れた後もデスクトップアイコンは表示されません。	アラームを通知しません。設定はそのまま残ります。 録画予約の場合、開始日時の約1分前に電源がONになっていないと録画されません。電源をONにしたあとデスクトップアイコンは表示されません。
通話中※	受話口からアラーム音が鳴ります。ディスプレイには通知アニメーションが表示されます。	
イヤホンマイク接続中	「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。アラーム音は「イヤホン切替設定」の設定に従ってイヤホンおよびスピーカーから鳴ります。	
ダイヤルロック／おまかせロック設定中	アラームを通知しません。録画予約の場合、開始日時の約1分前に各ロックが解除されていないと録画されません。 各ロックの解除後にデスクトップアイコンでお知らせします。	
オリジナルロック設定中	アラーム／スケジュール／To Doリストのアラームは通知しません。デスクトップアイコンは表示されます。 ワンセグ視聴予約／録画予約のアラームは通知します。	

※：「通知優先」に設定している場合の動作です。「操作優先」に設定している場合は、待受画面に「 (未通知アラームあり)」 (未視聴予約あり)」のデスクトップアイコンが表示されます。

おしらせ

- 「スケジュール」「To Doリスト」のアラーム音の音量は、「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。
- 通話中のアラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
- 「バイブレータ」の「電話」を「OFF」以外に設定している場合は、アラームを振動でもお知らせします。
- 通話中のアラームでのアラーム通知では、「スヌーズ通知する」に設定していても、スヌーズで通知は行いません。
- 「アラーム音選択」で i モーションを設定しても、通話中など i モーションを起動できないときは、アラーム音とアニメーションでアラーム通知を行います。
- 自動マナーモードを起動／解除する時間を「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」の設定した時間と同じ時間に設定すると、マナーモードを起動／解除してからアラーム通知されます。

<アラーム通知の優先順位>

- 「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラーム通知が同じ時刻に設定されている場合、優先順位は以下のとおりです。
①アラーム ②ワンセグ録画予約 ③To Doリスト
④スケジュール ⑤ワンセグ視聴予約
アラーム通知できなかった場合は、待受画面に「 (未通知アラームあり)」 「 (未視聴予約あり)」のデスクトップアイコンを表示してお知らせします。→P.357

● アラーム音を止めるには

■アラームのアラーム音

<「スヌーズ通知しない」の場合>

いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／ i モーションは停止します。もう一度いずれかのボタンを押すと、「ビビッ」という解除音が鳴り、表示を消すことができます。

<「スヌーズ通知する」の場合>

いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／ i モーションは停止し、アラームメッセージは「スヌーズ中・・・」と表示され、設定した鳴動間隔(分)で再度アラームを通知します。「スヌーズ中・・・」に  を押すと、「ビビッ」という解除音が鳴りスヌーズが解除されます。

■その他のアラーム音

いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／ i モーションは停止し、アラームメッセージは表示されたままになります。もう一度いずれかのボタンを押すと、アラームメッセージは消えます(ワンセグ視聴予約では「連携起動設定」が「OFF」のとき)。

■アラーム通知中に電話がかかってきた場合

アラーム通知を停止して着信の動作になります。「アラーム」のスヌーズも解除されます。

■FOMA端末を閉じているとき

 (サイドボタン) を押すか、いずれかのタッチセンサーに触れると、アラーム音が止められます。

通知できなかったアラームの内容を確認する

アラームを通知できなかった場合は、待受画面に「 (未通知アラームあり)」 「 (未視聴予約あり)」のデスクトップアイコンが表示されます。デスクトップアイコンから通知できなかったアラームの内容(未通知アラーム情報)を確認します。

1 待受画面表示中 「 (未通知アラームあり)」または「 (未視聴予約あり)」を選択

未通知アラーム情報が表示されます。

■ デスクトップアイコンを消す場合

▶  (1秒以上)

デスクトップアイコンを消すと、未通知アラーム情報は確認できなくなります。

2 内容を確認

 を押すと待受画面に戻り、デスクトップアイコンは消えます。

アラーム内容を読み上げる

FOMA 端末を閉じているときにアラーム通知があった場合、アラーム通知中に  (サイドボタン) を押すと、アラームを停止し、アラーム内容を読み上げます。

- 「アラーム通知中読み上げ」を「ON」に設定している場合のみ読み上げを行います。
- 読み上げる際には、音声で周囲にもれますので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してください。
- 読み上げの音量は「レベル2」になります。
- 「バイリンガル」を「English」に設定中は、読み上げは行われません。

① アラーム通知中に (サイドボタン)

読み上げを開始します。

読み上げる内容は以下のとおりです。

アラームの種類	読み上げる内容
アラーム	現在時刻
スケジュール	登録したスケジュールの件名の 全角20文字分
To Doリスト	登録した用件の全角20文字分

おしらせ

- 読み上げ中に再度  (サイドボタン) を押すと、読み上げを中止します。
- シークレットデータとして登録したスケジュールは読み上げません。「シークレットモード」「シークレット専用モード」の場合を除く。

読み上げるかを設定する

(アラーム通知中読み上げ)

アラーム通知中に  (サイドボタン) を押して、アラーム内容を読み上げるかどうかを設定します。

① ▶「SETTINGS / NW SERVICE」 ▶「時計」▶「アラーム通知中読み上げ」▶「ON」または「OFF」

自分の名前や画像を登録する

(マイプロフィール)

名前や自宅の電話番号、メールアドレスなど、お客様の個人情報を登録します。個人情報を登録しておくことで、FOMA 端末の所有者を確認したり、文字入力(編集)画面で登録されている内容を引用できます。

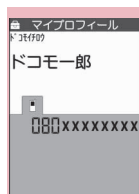
- 自局番号を変更したり削除することはできません。
- 自局番号以外は登録したデータがFOMA 端末に記憶されます。ほかのFOMA カードを差し込んでも、自局番号以外はFOMA 端末に登録したデータが表示されます。

マイプロフィールを表示する

本機能を起動したときは名前、自局番号、1 件目のメールアドレスのみ表示できます。

① ▶「LIFEKIT」▶「マイプロフィール」

自宅の電話番号や住所などの個人データを登録している場合は、機能メニューから「全データ表示」を選択して端末暗証番号を入力すると、すべてのデータを表示できます。



機能メニュー ▶ P.359

おしらせ

- 2in1 のモードがデュアルモードの場合は、マイプロフィール画面で  を押してAナンバーとBナンバーの情報を切り替えることができます。
- 2in1 利用中にFOMA カードを入れ替える場合は、Bナンバーのマイプロフィールを初期化した後、FOMA カードを入れ替えてください。→ P.359

マイプロフィールを登録する

① マイプロフィール画面 (P.358) ▶ 【編集】▶端末暗証番号を入力

② 以下の項目から選択

姓 名前入力 / 姓……お客様の名字を入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などで入力します。

か フリガナ入力 / 姓……お客様の名字を入力すると自動的に設定されますので必要に応じて変更してください。半角のカタカナ、英字、数字、記号で入力します。

名前入力／名……名字と同様、お客様の名前を入力します。

フリガナ入力／名……名字と同様、お客様の名前を入力すると自動的に設定されますので必要に応じて変更してください。

電話番号入力……自局番号以外の電話番号を追加登録してアイコンを選択します。電話番号は26桁まで入力できます。「追加登録」を選択すると電話番号を追加登録できます。

メールアドレス入力……メールアドレスを入力してアイコンを選択します。半角の英字、数字、記号で入力します。メールアドレスが登録されていない場合は、「自動取得」を選択し、設定されているメールアドレスをiモードセンターから自動で取得できます（メールアドレスにシークレットコードを登録している場合、シークレットコードも自動で取得します）。「追加登録」を選択するとメールアドレスを追加登録できます。

住所入力……郵便番号以外の住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などで入力します。*

位置情報付加……「画像から付加」を選択し、ダウンロード画像などに付加されている位置情報を登録します。登録済みの情報内容を確認する場合は「位置情報詳細」、削除する場合は「位置情報削除」を選択します。

誕生日入力……誕生日（西暦・月日）を入力します。設定できる西暦は、1800年から2099年までです。

メモ入力……メモを入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などで入力します。

静止画登録……マイプロフィールで表示される静止画をカメラで撮影するか、またはマイピクチャから選択して設定します。「静止画解除」を選択すると、設定中の静止画を解除できます。

※：「都道府県」「市町村、郡、区」「番地」「マンション名など」の4項目合わせて全角50文字、半角100文字までで入力してください。

おしらせ

- 自分のメールアドレスを変更したりシークレットコードを登録した場合は、本機能のメールアドレスの登録内容も変更してください（自動的に変更されません）。

機能 マイプロフィール画面 (P.358)

マイプロフィール編集

全データ表示……で登録内容を確認します。

名前コピー……マイプロフィールに登録されている名前をコピーし、文字入力（編集）画面などで貼り付けることができます。→P.384

電話番号コピー*1……表示中の電話番号をコピーし、文字入力（編集）画面などで貼り付けることができます。→P.384

メール添付*2……マイプロフィールのデータを添付し、iモードメールを作成します。

対応iアプリを利用*3……位置情報利用に対応したiアプリ（位置情報を利用できるiアプリ）の一覧を表示します。

地図を見る*3……「地図設定」（P.267）で設定したiアプリ（位置情報を利用できるiアプリ）が起動します。*4

メール貼り付け*3……マイプロフィールに登録されている位置情報URLを本文に貼り付け、iモードメールを作成します。

画像に付加*3……マイプロフィールに登録されている位置情報を画像に付加します。

i C送信→P.331

赤外線送信→P.330

Bluetooth送信→P.332

microSDへコピー→P.319

拡大表示⇔**標準表示**……表示する名前の文字サイズを切り替えます。→P.109

2in1契約間い合わせ*5……Bナンバーの情報を取得し、Bナンバーのマイプロフィール画面に登録します。

マイプロフィール初期化……自局番号以外のマイプロフィールを初期化（削除）して、お買い上げ時の状態に戻します。

電話番号削除*6……表示中の電話番号を削除します。

3 完了

- ※1: 表示中の項目によって機能名は「メールアドレスコピー、住所コピー、位置情報コピー、誕生日コピー、メモコピー」になります。
- ※2: 全データ表示中にのみ利用できます。
- ※3: 全データ表示中に、位置情報を表示しているときのみ利用できます。
- ※4: 国際ローミング中の場合、「iモードサイト」「iアプリ」のどちらを利用するかを確認する画面が表示されます。
- ※5: 2in1のBナンバーのマイプロフィール画面を表示しているときのみ利用できます。
- ※6: 表示中の項目によって機能名は「メールアドレス削除、住所削除、位置情報削除、誕生日削除、メモ削除、静止画削除」になります。

個人データ（マイプロフィール）を引用する

個人情報登録しておく、FOMA端末の所有者情報を確認したり、文字入力（編集）画面／iモードで登録されている内容を引用できます。

＜例：iモードサイトで個人データを引用する＞
選択する項目はサイトによって異なります。

① 個人データを引用するサイトを表示 ▶「マイプロフィール引用」を選択▶

端末暗証番号を入力

引用できる項目が一覧で表示されます。

■ 引用する項目を指定する場合

▶  で引用しない項目のチェックを外す

■ 2in1のモードがデュアルモードの場合

▶ 「マイプロフィールA」または「マイプロフィールB」

会員登録	
おなまえ	
おとがな	
住所	
電話番号	
747 0246引用	

② 【完了】

引用する項目が自動で入力されます。

おしらせ

- 住所情報を文字入力、iモードサイトで引用する場合、項目間に空白が入る場合があります。
- マイプロフィールを引用した場合、自動で入力された項目以外のデータが引用されることはありません。

相手の声や自分の声を録音する

（通話中音声メモ／待受中音声メモ）

音声メモには、音声通話中またはテレビ電話中に相手の声を録音できる「通話中音声メモ」と、待受画面表示中に自分の声を録音できる「待受中音声メモ」の2種類があります。

- 録音できる件数は、通話中音声メモまたは待受中音声メモのどちらか1件で、録音するたびに上書きされます。
- 録音できる時間は約20秒です。
- 録音した音声メモの再生、消去について→P.76

通話中に相手の声を録音する

① 通話中▶ （サイドボタン1秒以上）

「ピッ」と鳴って録音が始まります。録音時間（約20秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて通話中画面に戻ります。

■ 録音を途中でやめる場合

▶  【停止】 または  （サイドボタン1秒以上）

待受中に自分の声を録音する

① ▶ 「LIFEKIT」▶ 「音声メモ※」▶ 「YES」▶ 音声メモを録音

※：メインメニューの種類によっては「待受中音声メモ」と表示されます。

「ピッ」と鳴ったら送話口に向かってお話しください。録音時間（約20秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて「LIFEKIT」の一覧画面が表示されます。

■ 録音を途中でやめる場合

▶  【停止】

おしらせ

- 録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。

お知らせ

<通話中音声メモ>

- 機能メニューの各項目の操作中、テレビ電話の保留中などは録音することはできません。
- 2in1のモードがAモードまたはBモードの場合は、利用しない電話番号にかかってきた電話の相手の声を録音すると、音声メモの再生/消去画面には「★」が表示されず、再生できません。

通話中に相手の声を自動録音するように設定する

(自動音声メモ)

通話中の相手の声を自動で録音するように設定します。

- 自動録音できるのは音声電話のみで、通話の終わり部分約1分間が録音されます。
- 録音できる件数は2件で、古いものから順に上書きされます。
- 自動録音した音声メモの再生、消去について→P.76

1 「SETTINGS / NW SERVICE」▶「通話」▶「自動音声メモ」▶「ON」または「OFF」

■自動音声メモをONにした場合

待受画面にアイコンが表示されます。→P.28

お知らせ

- 以下の動作を行ったときは、それまでの録音内容がいったん消去され、通話を再開した時点で新たに録音が始まります。
 - ・「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラームが通知されたとき
 - ・電話帳、リダイヤル、発信履歴、着信履歴を表示したとき
 - ・テレビ電話に切り替えたとき
 - ・通話を保留にしたとき
 - ・ボタン操作で通話中音声メモを動作させたとき
 - ・マルチタスクで他の機能に切り替えたとき
 - ・通話中に別の電話がかかってきたとき(通話を切り替えた場合は、最後の通話内容が録音されます)
- 伝言メモ動作中は録音されません。伝言メモから音声通話に移行した場合は、その時点で録音が始まります。
- 2in1のモードがAモードまたはBモードの場合、利用していない電話番号で録音した自動音声メモには「★」が表示されません。「デュアルモード」に設定している場合は両方で録音した自動音声メモに「★」が表示されます。

アラーム音や応答保留音を録音／再生する

(おしゃべり機能)

音声を録音して、オリジナルの着信音や応答メッセージとして設定します。

- 録音できる音声は「おしゃべり1、2」の2件です。
- 録音できる時間は約15秒です。
- 「おしゃべり機能」が録音されている場合はタイトル横に「★」が表示されます。
- 本機能で録音した音声を設定できる機能は以下のとおりです。
 - ・各種着信音(音声電話、テレビ電話、メール、メッセージR/F、i コンシェル、非通知着信設定、マルチナンバー、Bナンバー着信設定)
 - ・各種アラーム通知音(アラーム、スケジュール、To Doリスト、ワンセグ視聴予約、時刻アラーム音、通話料金通知)
 - ・応答保留音
 - ・応答メッセージ(伝言メモ)

1 ▶「LIFEKIT」▶「おしゃべり機能」

■再生する場合

▶「★」が付いている項目を選択

■消去する場合

▶ [機能] ▶「消去」

2 項目を選択 ▶「YES」▶音声を録音

送話口に向かってお話ください。録音時間(約15秒間)が終了する5秒前に「ビッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「おしゃべり録音中」の表示が消えて元の画面に戻ります。

■録音を途中でやめる場合

▶ [停止]

お知らせ

- 録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。

通話時間・料金を確認する

(通話時間/料金)

音声通話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認します。

- 確認できる内容は以下のとおりです。

項目	表示内容
通話時間	直前の通話時間を表示
通話料金	直前の通話料金を表示 (音声電話、テレビ電話、64K データ通信別) *
積算時間	前回リセット時からの積算通話時間を表示 (音声電話、テレビ電話、64K データ通信別) *
積算通話料金	前回リセット時からの積算通話料金を表示 (音声電話、テレビ電話、64K データ通信の合計)
前回積算時間リセット日時	前回の積算時間リセット日時を表示
前回積算料金リセット日時	前回の積算料金リセット日時を表示

※：テレビ電話は「デジタル呼 (AV 呼)」、64K データ通信は「デジタル呼 (非制限デジタル)」に表示されます。

- 音声電話とテレビ電話の通話を切り替えた場合、通話時間には音声電話とテレビ電話の合計の通話時間が表示され、通話料金には音声電話とテレビ電話の通話料金が個別に表示されます。なお、表示される通話料金は実際の通話料金と異なる場合があります。
- 通話時間は、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内 (104) などに通話した場合は、「¥0」または「¥**」が表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金 (2004年12月から積算開始) が積算通話料金に表示されます。
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間/料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。
- 2in1 をご契約いただいている場合、積算時間と積算通話料金にはAナンバーとBナンバーの合計が表示されます。

① MENU ▶「SETTINGS / NW SERVICE」 ▶「時間/料金」▶「通話時間/料金」

おしらせ

- 前回および積算の音声電話通話時間やデジタル通信通話時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントします。
- i モード通信、パケット通信の通信時間・通信料金、着もじの送信料金はカウントされません。i モード利用料などの確認方法については、『ご利用ガイドブック (i モード<FOMA>編)』をご覧ください。
- 着信中や相手呼び出ししている時間、音声電話とテレビ電話を切り替えている時間はカウントされません。
- 電源を切ると、通話時間は「0秒」、通話料金は「¥**」に戻ります。
- 電源を切っても、積算時間、積算料金の情報は残ります。
- WORLD CALL 利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。

積算通話時間と積算通話料金をリセットする (積算リセット)

「通話時間/料金」に表示される通話の積算時間および積算料金をゼロに戻します。

① MENU ▶「SETTINGS / NW SERVICE」 ▶「時間/料金」▶「積算リセット」 ▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

積算時間リセット……積算通話時間をゼロに戻します。

積算料金リセット……PIN2コード (P.118) を入力して積算通話料金をゼロに戻します。

積算通話料金の自動リセットを設定する (積算料金自動リセット)

毎月1日の0:00になると、「通話時間／料金」に表示される積算通話料金が自動的にゼロに戻るよう設定します。

① 「SETTINGS／NW SERVICE」 ▶「時間／料金」▶「積算料金自動リセット」▶端末暗証番号を入力

② 「自動リセット設定」▶「ON」▶PIN2コードを入力

PIN2コードについて→P.118

■ 設定しない場合

▶「OFF」

おしらせ

- 積算料金自動リセットを「ON」に設定し、「メイン時計設定」で月を変更すると積算通話料金はリセットされます。
- 次の場合、積算料金自動リセットは「OFF」に設定されます。
 - ・ FOMAカードを未挿入の状態電源を入れたとき
 - ・ FOMA端末の電源を入れたときに表示されるPIN2コード入力画面で[CLR]を押したとき
 - ・ PIN2コードがロック中のとき→P.118
 - ・ FOMAカードに異常があるとき

通話料金の上限を設定して知らせる (通話料金通知)

「通話時間／料金」で表示される積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると待受画面やアラームなどでお知らせします。

- アラーム通知は、積算通話料金が設定した上限料金を超えたときに一度だけ行います。
- 上限料金を超えても通常どおり電話をかけることができます。

① 「SETTINGS／NW SERVICE」 ▶「時間／料金」▶「通話料金通知」 ▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

上限料金の設定……10～100,000円の範囲で10円単位で上限の料金を設定します。

通知設定

 **上限値通知設定**……通話料金通知を行うかどうかを設定します。

 **アラーム音選択**……アラーム音を選択します。

 **アラーム音量**…… でアラーム音量を設定します。

② 【完了】

おしらせ

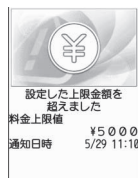
- i モード通信、パケット通信の通信料金、着もじの送付料金は本機能の対象外です。i モード利用料などの確認方法については、『ご利用ガイドブック (i モード<FOMA>編)』をご覧ください。

● アラーム通知動作

通話終了後、積算通話料金が設定した上限料金を超えると次のような動作で通知します。

■ 上限値通知設定を「通知する」、アラーム音選択を「OFF」以外に設定している場合

積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると、通話を終了して3秒後にアラーム音が約5分間鳴り、上限料金を超えたことを通知する画面が表示されます。アラーム音を止めるにはいずれかのボタンを押します。通知動作終了後、[CLR]またはを押すと、待受画面に「 (通話料金通知)」のデスクトップアイコンが表示されます。



■ 上限値通知設定を「通知する」、アラーム音選択を「OFF」に設定している場合

積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると、待受画面に「 (通話料金通知)」のデスクトップアイコンが表示されます。

● 「 (通話料金通知)」の内容を確認する

待受画面に表示された「 (通話料金通知)」のデスクトップアイコンを選択して、通話料金通知の内容を確認します。

① 待受画面表示中▶▶「 (通話料金通知)」を選択▶端末暗証番号を入力

「通話料金通知」の内容が表示されます。

② 内容を確認▶ 【確認】

待受画面に戻り、「 (通話料金通知)」が消えます。

電卓を使う

〈電卓〉

FOMA端末で四則演算（＋、－、×、÷）を行います。

- 数字は10桁まで表示できます。また、小数点以下は9桁まで表示できます。
- 計算結果が10桁を超えた場合は、「E」と表示されます。

① ▶ 「LIFEKIT」 ▶ 「電卓」

■ 機能をデスクトップに貼り付ける場合

▶  [機能] ▶ 「デスクトップ貼付」

② 計算する

■ 「23＋57」を計算する場合

2 3 + 5 7 =
     

■ 負の数を計算する場合

先頭の数字に「－」を付けた場合のみ、負の数の計算ができます。

－ 2 3 + 5 7 =
      

おしらせ

-  () は、計算を最初からやり直すときに使います。また、数字や小数点の入力中は  の表示となり、 を押して間違えた数字や小数点を消去することができます。

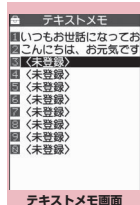
テキストメモを作成する

〈テキストメモ〉

簡単なメッセージなどをテキストメモとして作成します。作成したテキストメモはスケジュールの詳細やメールの本文に貼り付けることができます。

- テキストメモは10件まで登録できます。

① ▶ 「LIFEKIT」 ▶ 「テキストメモ」



機能メニュー ▶ P.364

② 登録または変更する項目を反転 ▶ [編集] ▶ 内容を入力

 **テキストメモ画面 (P.364)**

編集

メール作成……テキストメモを本文に貼り付け、i モードメールを作成します。

スケジュール作成→P.351

デスクトップ貼付……デスクトップに貼り付けると、デスクトップからアイコンを選択したときに、テキストメモ画面が表示されます。→P.110

i C送信、i C全送信→P.331

赤外線送信、赤外線全送信→P.330

Bluetooth送信、Bluetooth全送信→P.332

microSDへコピー→P.319

テキストメモ情報……作成日時や分類を確認します。

分類……「なし、プライベート、休日、旅行、仕事、会議」から選択して分類します。

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

辞典を利用する

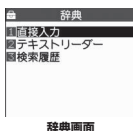
〈辞典〉

- 辞典は、各種文字編集画面の機能メニューからも利用できます。→P.365

1 MENU ▶ 「LIFEKIT」 ▶ 「辞典」

■機能をデスクトップに貼り付ける場合

▶[ch] [機能] ▶「デスクトップ貼付」



辞典画面

2 以下の項目から選択

直接入力……単語を入力します。

テキストリーダー……テキストリーダーから単語を入力します。→P.230

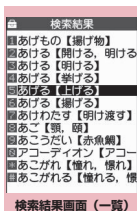
検索履歴……以前検索した単語の履歴から検索します。「検索履歴を使う」→P.365

3 辞典の種類を選択

該当する単語がない場合は、入力した文字に近い単語が反転表示されます。

■前後の一覧を表示する場合

▶検索結果画面(一覧)▶



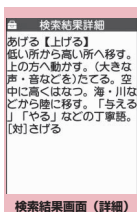
検索結果画面(一覧)

機能メニュー▶P.365

4 単語を選択

■前後の単語を表示する場合

▶検索結果画面(詳細)▶



検索結果画面(詳細)

機能メニュー▶P.365

機能 検索結果画面(一覧・詳細) (P.365)

ウィンドウ切替※……検索結果と文字編集の画面を切り替えます(切り替えができる場合のみ利用できます)。

コピー……文字をコピーします。

一覧画面：和英辞典と国語辞典は検索結果の【】内の文字を、英和辞典は検索結果の単語をコピー

詳細画面：範囲を指定してコピー

コピーした文字は、文字入力(編集)画面などに貼り付けることができます。→P.384

結果詳細から検索※……調べたい単語を範囲指定し、別の検索を行います。範囲指定の操作はコピーと同様です。→P.384

別の辞典で検索

参照編集※……検索結果を見ながら文字編集をすることが出来ます(参照編集ができる場合のみ利用できます)。「分割画面について」→P.377

※：検索結果画面(詳細)でのみ利用できる機能です。

検索履歴を使う

1 辞典画面(P.365)▶「検索履歴」

■検索履歴を削除する場合

▶[ch] [機能] ▶削除方法を選択

2 単語を選択

その他の機能から辞典を利用する

●文字編集画面、送信メール詳細画面で、機能メニューから「辞典検索」を選択します。辞典が起動したら、「直接入力」「範囲選択」「検索履歴」から選択することができます。

「範囲選択」を選択すると、調べたい単語を範囲選択することができます。

●クイック検索画面でキーワードを入力後、「辞典検索」を選択します。→P.185

便利な機能

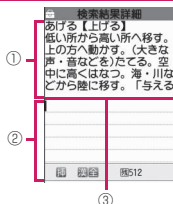
● 辞典の参照画面について

「参照編集」を選択すると、上下2つに画面が分割されます。

機能メニューから「ウィンドウ切替」を選択することによって操作できる画面が①と②で切り替わります。

- ① 辞典の詳細画面
- ② 文字編集画面
- ③ 区切り線

辞典を終了するときには、①の画面で[終了]を押すか、②の画面で機能メニューから「辞典終了」を選択してください。



スイッチ付イヤホンマイクの使いかた (スイッチ付イヤホンマイク)

ステレオイヤホンマイク O1 (別売) を使って電話をかけたり、受けたりします。

- 「ボタン確認音」の設定にかかわらず、電話を受けたり電話を切ったりしたときのスイッチ音は鳴ります。
- ステレオイヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けしないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。また、通話中にステレオイヤホンマイクのコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。
- FOMA端末を閉じた状態でも電話をかけたり受けたりすることができます。

イヤホンマイクのスイッチ動作を設定する (イヤホンスイッチ発信設定)

設定した相手に、スイッチを1秒以上押すだけで音声電話をかけるように設定します。

- 本機能には、FOMA端末(本体)の電話帳に登録されている電話番号を設定します。

① [MENU] ▶ 「SETTINGS / NW SERVICE」 ▶ 「発信」 ▶ 「イヤホンスイッチ発信設定」 ▶ 「音声発信」

- 設定しない場合
- ▶ 「OFF」

② 設定したい電話番号の電話帳詳細画面を表示 ▶ ● [選択]

電話帳の検索のしかた→P.85

おしらせ

- 本機能に設定した電話番号が2in1の設定により利用できない場合は、ステレオイヤホンマイクなどのスイッチを使った発信ができなくなります。

イヤホンマイクをつないだときに使うマイクを選ぶ (イヤホンマイク設定)

ステレオイヤホンマイクなどを接続しているときに使うマイクを、FOMA端末側のマイクにするか、イヤホンマイク側のマイクにするかを設定します。

① [MENU] ▶ 「SETTINGS / NW SERVICE」 ▶ 「外部接続」 ▶ 「イヤホンマイク設定」 ▶ 「本体マイク」または「イヤホンマイク」

マイクのないイヤホンに接続する場合は、「本体マイク」を選択してください。

おしらせ

- 「イヤホンマイク設定」を「本体マイク」に設定するとハンズフリーをONに設定した場合と同じマイク感度になります。イヤホンマイクを接続した場合、送話口に近づけて通話する必要はありません。

スイッチを使って電話をかける

① 電話番号をダイヤル▶スイッチを1秒以上押す

電話帳、リダイヤル／発信履歴、着信履歴からかけることもできます。

■ 電話番号をダイヤルしない場合

「イヤホンスイッチ発信設定」で設定した電話番号に電話がかかります。

② 通話が終了したら、スイッチを1秒以上押す

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

スイッチを使って電話を受ける

① 着信中▶スイッチを押す

「ピッ」という音が鳴り、電話を受けます。

② 通話が終了したら、スイッチを1秒以上押す

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

お知らせ

- 「キャッチホン」をご契約の場合は、通話中にかかってきた電話にステレオイヤホンマイクのスイッチを押して出ることができます。また、スイッチを1秒以上押して通話中の電話を切り替えることができます。ただし、スイッチを押して通話を終わらせることはできません。
- ステレオイヤホンマイクのスイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。

イヤホンマイクをつないで自動で電話を受ける

(オート着信設定)

ステレオイヤホンマイクなどを接続しているとき、スイッチを押さなくてもかかってきた音声電話やテレビ電話を自動で受けるようにそれぞれ設定します。

- 音声通話中、テレビ電話中は、本機能によって自動で電話を受けることはできません。
- FOMA端末を閉じた状態でも自動で受けることができます。

① ▶「SETTINGS／NW SERVICE」▶「外部接続」▶「オート着信設定」▶「音声着信」または「テレビ電話」

② 「オート着信あり」▶呼出時間(001～120秒の3桁)を入力

■ 無効にする場合

- ▶「オート着信なし」

お知らせ

- ステレオイヤホンマイクを着信中に接続しても、オート着信は動作しませんが、着信中に接続を外すとオート着信は動作します。

Bluetoothを利用する

(Bluetooth)

Bluetooth機器どうしをワイヤレスで接続できます。たとえばFOMA端末とワイヤレスイヤホンセット02(別売)をBluetooth通信で接続すると、FOMA端末をかばんなどに入れたまま通話をしたり音楽を聴いたりできます。

- Bluetooth接続を使用すると電池の消費量が多くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- セルフモード設定中はBluetooth機能を利用できません。

Bluetoothでできること

FOMA端末では、ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービス、オーディオサービス、ダイヤルアップ通信サービス、オブジェクトプッシュサービス、シリアルポートサービスの6つのサービスを利用できます。また、オーディオサービスではオーディオ/ビデオリモートコントロールサービスも利用できる場合があります(対応しているBluetooth機器のみ)。

対応バージョン

Bluetooth標準規格 Ver.2.0+EDR 準拠※1

対応プロファイル※2 (対応サービス)

- HSP: Headset Profile (ヘッドセット通信)
- HFP: Hands-Free Profile (ハンズフリー通話)
- A2DP: Advanced Audio Distribution Profile (ステレオ音声・高音質オーディオ通信)
- AVRCP: Audio/Video Remote Control Profile (AV機器のリモコン機能)
- DUN: Dial-up Networking Profile (ダイヤルアップ通信)
- OPP: Object Push Profile (Bluetooth通信)
- SPP: Serial Port Profile (シリアルポートサービス)

※1: FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※2: Bluetooth機能の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

■**ヘッドセットで通話する(ヘッドセットサービス)**
Bluetooth Wireless Unit N01(別売)やBluetoothヘッドセット(市販品)とFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、ワイヤレスで通話できます。

■**ハンズフリーで通話する(ハンズフリーサービス)**
カーナビなどのBluetooth通信対応機器(市販品)とFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、カーナビなどのマイクとスピーカーを利用してハンズフリーで通話できます。

■**オーディオ機器で再生する(オーディオサービス)**
ワイヤレスイヤホンセット P01/P02(別売)やBluetooth通信対応オーディオ機器(市販品)とFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、高音質なステレオサウンドをワイヤレスで再生できます。

- ワンセグやビデオの音声に関しては対応する機器が制限されます。→P.373

■**ワイヤレスで通信する(ダイヤルアップ通信サービス)**

Bluetooth通信対応パソコンなどとFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、FOMA端末をモデム代わりにしてパケット通信や64Kデータ通信を行います。

- 詳細については、付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」(PDF形式)をご覧ください。

■**Bluetooth通信でデータを送受信する(オブジェクトプッシュサービス)**

Bluetooth機器とFOMA端末をBluetooth通信で接続して、電話帳、スケジュール、To Doリスト、テキストメモ、メール、ブックマーク、マイプロフィールをやりとりできます。→P.332

■**i アプリからBluetooth通信を利用する(シリアルポートサービス)**

Bluetooth通信を利用して他の携帯電話やBluetooth通信対応機器と接続することにより、i アプリで対戦ゲームをしたり、データを管理したりできます。

■Bluetooth機器から出力される音

- お使いのBluetooth機器によっては、下記の動作にならない場合があります。

出力される音	接続サービス		
	HSP	HFP	A2DP
音声電話発信音	○	○	×
音声電話／テレビ電話着信音	○※1※2	○※2	×
音声電話／テレビ電話時の呼び出し音	○	○	×
音声電話／テレビ電話時の相手の音声	○	○	×
音声電話時の相手の伝言メモの音声	○	○	×
ワンセグの音声	×	×	○
ビデオ再生音	×	×	○
ミュージックプレーヤー再生音	×	×	○
アラーム通知音	○※3	○※3	×
メール着信音	×	×	×

○：Bluetooth機器から出力されます。

×：Bluetooth機器からは出力されずFOMA端末から鳴ります。

※1：「イヤホン切替設定」を「イヤホン＋スピーカー」に設定している場合は、Bluetooth機器、FOMA端末の両方から鳴ります。

※2：「着信音送出設定」を「送らない」に設定している場合は、Bluetooth機器からは設定中の着信音とは異なる音が鳴ります。

※3：通話中のみBluetooth機器から鳴ります。Bluetooth機器から鳴る音はアラーム音に設定した音ではなく時刻アラーム音が鳴ります。

お知らせ

- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。

■Bluetooth機器取り扱い上のご注意

■良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。FOMA端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。

特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。

- 他の機器（電気製品／AV機器／OA機器など）からなるべく離して接続してください（電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください）。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります）。

- 放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。

- Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器とFOMA端末の間に身体を挟むと通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

■無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切ってください。

■Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。

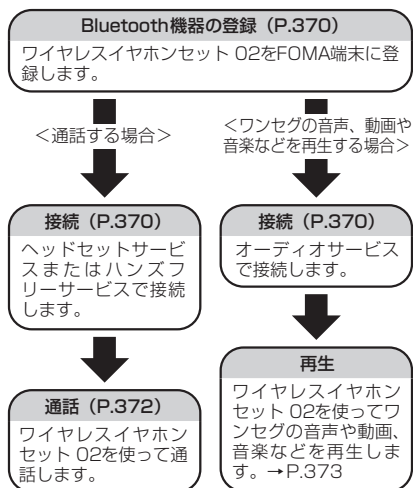
場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

- 電車内 ・ 航空機内 ・ 病院内
- 自動ドアや火災報知機から近い場所
- ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Bluetooth利用の流れ

Bluetooth機能を利用するには、あらかじめFOMA端末にBluetooth機器を登録し、各機能に対応したサービスで接続する必要があります。

＜例：ワイヤレスイヤホンセット 02（別売）と接続する場合＞



Bluetooth機器を登録する

Bluetooth機器をFOMA端末に登録します。

- Bluetooth機器は20件まで登録できます。
- 登録したいBluetooth機器は、あらかじめ登録待ち状態にしておきます。

① MENU ▶ 「LIFEKIT」 ▶ 「Bluetooth」

■ 機能をデスクトップに貼り付ける場合

▶ [ch] [機能] ▶ 「デスクトップ貼付」



② 「登録機器リスト」 ▶ 「YES」

Bluetooth機器の検索がはじまります。検索が終了すると、「登録機器リスト画面」(P.370)が表示されます。「新規機器登録」からもBluetooth機器の検索を行うことができます。

■ すでにBluetooth機器が登録されている場合「登録機器リスト画面」(P.370)が表示されますので、 [サーチ] を押すとBluetooth機器の検索がはじまります。

③ 登録したいBluetooth機器を選択 ▶ 「YES」

④ Bluetoothパスキーを入力 ▶ 「確定」

登録する機器によってはBluetoothパスキーの入力は不要です（ワイヤレスイヤホンセット 02(別売)は不要です）。BluetoothパスキーについてはBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。



Bluetooth機器と接続する

登録したBluetooth機器とFOMA端末を接続します。

① Bluetoothメニュー画面 (P.370) ▶ 「登録機器リスト」

■ Bluetooth機器を検索する場合

▶ [サーチ]
「Bluetooth機器を登録する」→P.370



登録機器リスト画面 機能メニュー ▶ P.371

② Bluetooth機器を選択

接続中のサービスは「」、接続待機中のサービスは「」が表示されます。

③ サービスを選択

Bluetooth機器と接続されディスプレイに「」が点滅します。一定時間、Bluetooth機器との通信がないと、省電力状態となり「」の点灯に変わります。「ダイヤルアップ」を選択した場合は、接続履歴がある機器、「ダイヤルアップ登録待受」から登録した機器も含め、接続待機状態になります。複数のサービスで接続できるBluetooth機器の場合は、続けて別のサービスにも接続するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 接続処理中に中止する場合

▶ [中止]

■ 接続中のサービスを停止する場合

▶ 接続中のサービスを選択 ▶ 「YES」

おしらせ

- 接続処理中や切断処理中にBluetooth機器の電源が切れたり、Bluetooth機器からの応答がない場合は、処理に時間がかかることがあります。
- 接続中にBluetooth機器から切断された場合、接続待機中になります。また、接続中にFOMA端末の電源を切った場合も、再度電源を入れたときに接続待機中になります。
- 以下の場合、オーディオサービスで接続中にBluetooth機器から出力される音が停止することがあります。このとき、Bluetooth機器によっては、接続が切断されることがあります。
 - ・Bluetooth機器との接続が途切れたとき
 - ・メールやメッセージR/Fを受信したとき
 - ・アラーム通知（電池切れアラーム含む）があったとき
- ダイヤルロック／おまかせロック設定中は、Bluetooth機能は無効（Bluetoothオフ）となりBluetooth機器との接続を切断します。ダイヤルロック／おまかせロック解除後は、Bluetooth機能は有効（Bluetoothオン）となりダイヤルロック／おまかせロック設定時に接続中または接続待機中だったサービスは接続待機状態となります。

●登録機器リスト画面の見かた



■機種種別アイコン

アイコン	説明
	パソコン
	電話
	AV機器
	その他

: 保護されているとき

■登録状態アイコン

- Bluetooth機器の検索を行った場合にのみ表示されます。→P.370

アイコン	説明
	登録済み
	未登録（新規検出）

■対応サービスアイコン

- 未登録の機器の場合は、機器（Bluetooth）アドレスが表示されます。

アイコン	説明
	ヘッドセットサービス（HSP）
	ハンズフリーサービス（HFP）
	オーディオサービス（A2DP）
	リモコンサービス（AVRCP）
	ダイヤルアップ通信サービス（DUN）
	オブジェクトプッシュサービス（OPP）
	シリアルポートサービス（SPP）

（灰色の文字）：接続履歴なし

（白色の文字）：接続履歴あり

（白色の文字、白色の枠）：接続待機中

（黒色の文字、緑色の背景）：接続中

機能 登録機器リスト画面（P.370）

機器登録

保護設定……登録機器の保護／保護解除を設定します。

機器名称変更、登録機器削除

登録機器情報表示……Bluetooth機器の機器名称、機器（Bluetooth）アドレス、機器種別、対応プロファイルを表示します。

サーチ……Bluetooth機器を検索します。

おしらせ

<機器登録>

- すでに登録済みのBluetooth機器を選択すると登録情報が更新されます。

Bluetooth機器を接続待機にする

登録しているすべてのBluetooth機器の接続待機状態を設定します。

① Bluetoothメニュー画面(P.370)

▶「接続待機」

接続中のサービスは「Z」、接続待機中のサービスは「Z」が表示されます。

② 「全待機」

■ 接続待機を解除する場合

▶「全解除」

■ サービスごとに個別に設定する場合

▶「個別設定」▶ で ☐ (チェックボックス) を選択▶ [完了]

☐ (チェックを外した状態) に設定すると、そのサービスは接続待機を解除します。

FOMA端末のBluetooth機能を停止する

接続中や接続待機中のサービスをすべて停止し、FOMA端末のBluetooth機能を停止します。

① Bluetoothメニュー画面(P.370)

▶「Bluetoothオフ」▶「YES」

■ Bluetooth機能を有効にする場合

▶「Bluetoothオン」

パソコンとワイヤレス接続する

(ダイヤルアップ登録待受)

Bluetooth通信対応パソコンなどとFOMA端末をワイヤレスに接続して、パケット通信や64Kデータ通信を行います。

① Bluetoothメニュー画面(P.370)

▶「ダイヤルアップ登録待受」

これ以降の詳しい操作手順については、付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」(PDF形式)の「Bluetooth通信を準備する」をご覧ください。

Bluetooth機能を使って通話する

FOMA端末をBluetooth機器とヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続し、ワイヤレスで通話します。

① Bluetooth機器とヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスで接続する

Bluetooth機器との接続について→P.370

② Bluetooth機器で電話をかける／受ける

Bluetooth機器で通話中はディスプレイに「」が表示されます。

Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

おしらせ

- ダイヤルロック／おまかせロック設定中は、Bluetooth機器での着信への応答ができません。
- Bluetooth機器をヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続中に着信があった場合は、マナーモード設定中でもBluetooth機器から着信音が鳴ります。
- Bluetooth機器で通話中は、FOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。
- Bluetooth機器で通話中は、「クローズ動作設定」の設定にかかわらず、FOMA端末を閉じても通話状態は変わりません。
- Bluetooth機器で通話中または発信中にBluetooth通信が切断された場合は、通話または発信を終了します。

● FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話するかを切り替えるには

① 通話中▶ (1秒以上)

Bluetooth機器側からの操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

おしらせ

- Bluetooth機器に切り替えても、ハンズフリー対応機器やイヤホンマイク(別売)を接続しているときは、Bluetooth機器で通話できない場合があります。
- 通話中画面、テレビ電話中画面の機能メニューからも通話を切り替えることができます。

Bluetooth機器を使って音楽・音声などを再生する

FOMA端末をBluetooth機器とオーディオサービスで接続すると、ミュージックプレーヤーの音楽やワンセグ・ビデオ・動画の音声などをBluetooth機器から出力できます。

1 Bluetooth機器とオーディオサービスで接続する

Bluetooth機器との接続について→P.370
オーディオサービスを接続待機している状態でBluetooth機器からオーディオサービスの接続を行った場合、ミュージックプレーヤーが自動で起動されます。ただし、待受画面以外を表示中や、他の機能が起動している場合、「ミュージックプレーヤー設定」の設定などによっては、自動で起動されないことがあります。

2 再生する

Bluetooth機器から音出力されます。

おしらせ

- SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみワンセグ・ビデオの音声再生できます。
- ワンセグ・ビデオ・動画の音声や音楽などをBluetooth機器から再生中は、FOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。
- Bluetooth機器とオーディオサービスで接続中に、Bluetooth機器から再生や一時停止の操作することで、ミュージックプレーヤーを起動することもできます（対応しているBluetooth機器のみ）。
- ミュージックプレーヤーをバックグラウンド再生している場合でも、Bluetooth機器のリモコン操作は有効です。
- ステレオイヤホン（別売）やイヤホンマイク（別売）を接続しているときは、Bluetooth機器で再生できません。
- 一度、Bluetooth機器をオーディオサービスで接続すると接続履歴として記憶されます。接続履歴がある場合は、FOMA端末のBluetooth機能を有効（Bluetoothオン）にしていると、オーディオサービスで接続しなくても、ワンセグを視聴する際やファイルを再生する際に自動的にBluetooth機器と接続します。接続が成功するとBluetooth機器から音出力され、接続に失敗するとFOMA端末から音出力するかどうかの確認画面が表示されます。

おしらせ

- 動画やビデオ、音楽を再生中にBluetooth通信が切断された場合は、切断されたことを示すメッセージが表示されます。ただし、「ミュージックプレーヤー設定」の設定やFOMA端末の開閉状態などによっては、メッセージは表示されず、自動的にミュージックプレーヤーが終了する場合があります。

Bluetoothについて設定する

（Bluetooth設定）

1 Bluetoothメニュー画面（P.370） ▶「Bluetooth設定」▶以下の項目から選択

セキュリティ設定……Bluetooth送信／Bluetooth受信時の認証の有無を設定します。認証する場合は、データを暗号化するかどうかを設定します。

全件転送パスワード設定……Bluetooth全送信時に認証パスワードを入力するかどうかを設定します。

サーチ時間……Bluetooth通信対応機器を検索する時間（01～20秒）を設定します。

着信音送出設定……接続しているヘッドセット機器やハンズフリー機器に、音声電話やテレビ電話の着信音を送信するかどうかを設定します。

ミュージックプレーヤー設定……オーディオサービス対応Bluetooth機器からミュージックプレーヤーを自動起動させたり、オーディオサービスが切断された場合にミュージックプレーヤーを自動終了させるかどうかを設定します。

外部機器からの発信……外部機器から電話をかけることができるかどうかを設定します。

自局情報……FOMA端末に搭載しているBluetooth機能の機器名称、機器（Bluetooth）アドレス、機器種別、対応プロファイルを表示します。また、【編集】を押して機器名称の変更もできます。

おしらせ

<着信音送出設定>

- ヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続中のBluetooth機器がある場合は設定できません。

おしらせ

<自局情報>

- 機器名称に絵文字を設定した場合、相手のBluetooth機器によっては正しく表示されない場合があります。